



何から中へ、小さな小さな光をくぐって漏れ出す自然光によって空間は満たされます。



Injected Housing

押し込められた家

言葉より、人が生活する空間は自然環境から守るためのシェルターとしてありました。そこには、ただただ斜斜に直線を通り、安らかな寝床としての空間が存在していました。

それはいつの日まで、誰が、誰か、誰か入ってくるような建築でした。目のよくなる風の中でできた非常に簡単な建具によって、外部と内部の境界を区別していました。でも畢竟であるがゆえに、建築の内部と外部環境との関係は常に緊張感のあるものになっていったように思えます。

Inject environmet

25mmの鉄板に削られた空間に付いた1000mmの開口と高さ1000mmの天井には、ガラスと鉄板が貼られていました。そこからは斜光線、さらに自然には風の遊び、時には紅葉した落ち葉がきゅん入ってくることでしよう。

その空間は自然環境が INJECT されるのです。

Plan 1/100

押し込められた家

ベンチールといえるような無規則な形ではなく、狭いほど大きくもないこの開口部からは、ともすると気にならないほど、風や紅葉はほんの少ししか入って来ません。しかし、その無量入りの人々でくる自然環境こそが肌這の身体感覚を刺激し、無量まで高めるのです。

写真を完全に遮断しているように見えるこの建物の中に入り、自身の身体感覚を最大で拡張していた時、その空間を満ちしている自然に気付くことでしよう。

外部 内部 身体

しかし視点の移動は幾何学的に南を、風を、空気を、そして可視環境を分解することや可能とし、そしてそれらを最適化は変換してきました。